

河内長野の桜を守ろう



特定外来生物

クビアカツヤカシキリ

発見したら

その場で

駆除を!

ご協力をお願いします。

発見・駆除の情報を
お知らせください。



詳しくはこちら



フラス（幼虫のフンと木くずが
混ざったもの）が排出される

特定外来生物で樹木を衰弱させ、枯死や落枝、倒木等の被害を与えます。体長25mm～50mm程の全体に光沢のある黒色で胸部（首部）が赤色をしています。

ひがいじゅもく

被害樹木

サクラ、モモ、ウメなどバラ科の多くの樹木。

せいちゅう とくちゅう まえむね あか

成虫の特徴

前胸が赤く、長い触角、全身は艶のある黒色。成虫は6月ごろから8月にかけて出現。

ようちゅう とくちゅう ようちゅう じゅもく す じゅもく く あら きせい じゅもく よわ こし

幼虫の特徴など

幼虫は、樹木の中で2～3年過ごす。樹木を食い荒らし、寄生された樹木が弱り枯死させてしまうことがある。寄生された樹木には、フラスと呼ばれる大量のひき肉のような木くずがある。

げんざんこく げんざんこく ちゅうごく たいやん ちようせんはんとう ほんこく にほん こんちゅう とくていがいらいせいぶつ

原産国

原産国は中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など。日本にはもともといない昆虫で、特定外来生物に指定されている。

お問い合わせ先：河内長野市環境経済部 環境政策課 電話：0721-53-1111
ホームページアドレス：<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/14/51708.html>

